

清高ライブラリー

2019年2月5日



2月に入り、今や国民的行事として定着しているバレンタインデーが近づいてきました。

日本におけるチョコレートの一人当たりの年間消費量は2017年には2.16kgとなっています。(全日本菓子協会推定数字) その量の25%がバレンタインデーで消費されているそうです。

バレンタインデーと言えば女性が男性にチョコを贈って愛を告白する日とされてきましたが、今では「本命チョコ」よりも「友チョコ」の需要のほうが多くなっているようです。他に「逆チョコ」(男性から女性へ贈る)、「マイチョコ」(女性が自分のために買うチョコ)などの言葉があり、また、マイチョコとは区別して「俺チョコ」(男性が自分のために買うチョコ)という言葉が生まれたり、現代のバレンタイン事情は多様化しています。

いま図書館ではチョコレートに関する雑学、歴史、料理の本やバレンタインデーに読んでほしい恋愛小説を展示しています。ぜひご覧ください。